

シャローム



今日ダビデの町に、あなたがたのために
救い主がお生まれになった。

(ルカによる福音 2章11節)

2023年
降誕祭号



目次

—ともに支えあい、一歩ずつ前へ—

クリスマスメッセージ・・・2p	ベトナム語ミサ・・・7p
子どもたちのお祝い・・・5p	ミニバザー報告・・・8p
日曜学校だより・・・6p	地区グループ集会報告・・・9p
	教会の動き・・・10p



主のご降誕

おめでとーいございます



クリスマスの光

森智宏神父

毎年、街中のイルミネーションで飾られたクリスマスツリーを見るたびに思い出すことがあります。海外研修のため、フィリピンにいた頃の話です。フィリピンも日本同様にクリスマス飾りつけが盛んに行われており、当時、私が研修していた田舎の町でもクリスマスツリーにイルミネーションがされていました。

待降節に入って間もない日の朝早く、打ち上げ花火を上げたような非常に大きな音と光で目が覚めました。何事かと思い、外の様子を見に行くと、教会の前にある個人商店から火の手が上がっており、その光景を見て一瞬で目が覚めました。間もなく消防車が来て、

鎮火はされたものの、その商店は全焼してしまいました。出火の原因は、クリスマスツリーのイルミネーションからの漏電だったようで、幸いにも人的被害はありませんでしたが、その商店は住居も兼ねており、その家族はしばらくの間は親戚のうちに身を寄せていたようです。熱心な信者の家族でもあったのですが、その後しばらくは、教会にも姿を見せませんでした。

クリスマスを少し過ぎた頃、その家族をミサで見かけました。とりあえず私声をかけたものの、その家族に対して、他に何と言葉をかければよいかわからず、言葉に詰まっていました。しかし、その家族は非常にあっけらかんと「火事は大変だったけれど、神さまが何とかしてくれるよ」と話してくれました。私は拍子抜けしたのですが、同時に困難の中で

も消えることがない希望を見たように感じました。一見、楽観的にも見えるのですが、彼らは火事後、商店再開の準備をしていたらしく、ただ楽観的だったわけではなく、むしろイエスから生まれる希望を見ていたように思えます。

さて、私たちが今生きている世界も、多くの困難があります。しかし、私たちはどんなに苦しい状況にあっても、常に希望があることを周りに告げ知らせなければなりません。その希望は、私たちのためにお生まれになったイエスにあり、いつも私たちの間に希望があることを忘れてはなりません。私はいつもクリスマスイルミネーションを見るたびに、自分がその希望を人々に告げ知らせ、喜び分かち合うために何ができるか、というのをいつも考えさせられます。

全ての人を笑顔にする力

札幌教区助祭 千葉 充

ある年のクリスマス、シスターに呼ばれ聖夜ミサにあずかるため、札幌の修道院に向かいました。夜七時からのミ

サに間に合うよう仕事を早く切り上げ、最寄りの地下鉄駅に降り立ち、ミサ開始まで一時間以上もあつたので、駅近くの喫茶店で温かい珈琲を飲みながら時間を潰すことにしました。

雪が深々と降るなか、窓際の席から外を眺めてみると、白く明るい雪道を街灯が照らすなかを、駅から大勢の人が足早に歩いてゆきます。皆同様に大きなケーキ箱を持ち、足元に気をつけながら帰っていきます。スーツにコートを羽織ったお父さんたちが、同じような大きな白い箱を持っています。今夜は家に帰って、子供たちとホームパーティーだろうかと思いついてみると、なんだか嬉しい気持ちが出てきます。日本では、クリスマスというサンタクロースとクリスマスケーキが有名になり、イエス様の降誕の日という認識は薄いものです。しかし、ケーキを買って帰る人たちの後ろ姿を眺めていると、「誰かの喜ぶ顔が見たい」と思う心が、全ての人のうちに共通しているのでは

ないかと気付かされます。

二千年前の、ある静かな夜にイエス様はお生まれになりました。それは人々の喜ぶ顔が見たいと願った神様からの、最高の贈りものです。

御子の誕生は、過去の一度起こった出来事です。しかし、この神の願いは今も続いているのです。私たちの喜ぶ顔を見たいと願う神のみ心と同じように、私たちも「誰かの喜ぶ顔が見たい」という心を持っていきます。クリスマスのお祝い、神のみ心と私たち人間の心が一致する、特別な日ではないでしょうか。

今、世の中は、そして世界は、決して明るいニュースばかりではありません。心が痛む出来事に接し、胸が痛み、悲しみが襲ってきます。希望が見い出せない人がいるなかで、祈りながら、嘆きながら、それでも再び立ち上がり、人々の喜ぶ顔が見られますように。クリスマス、飼葉桶に眠る幼子の寝息が聞こえるほどに、静かな夜をイエス様が過ごせますように。全ての人を笑顔

にする力が、この幼子に隠されているのですから。

**「今日ダビデの町で、
あなたがたのために
救い主がお生まれになった」**

(ルカ2章11節)

トランナムフォン神父

クリスマスは、わたしたちカトリック信者にとって大きな喜びです。この季節、わたしたちはキリストの誕生を祝い、救いの喜びをもたらした出来事を記念します。クリスマスは年末年始と合わせて買い物したり、忘年会やパーティーを企画したり、プレゼントを準備したりします。

忙しく楽しむ中でも、消費社会の風潮に流されずに、救い主イエス・キリストが人となり、わたしたちの間に住まわれたクリスマスの精神を心に留めながら、主の降誕祭を心からの喜びと共に祝うことができますように願いたいと思います。

ボスコ マニマラ 神父

クリスマスにあたり、皆様に神様の豊かな恵みがありますようお願い申し上げます。私たちは今日再びクリスマスという偉大な祝日を祝います。クリスマスは私たちの救いのための神様の愛ある計画がイエス様の受肉 (Incarnation) を通してよく表現されていることを私たちに思い出させます。神様の子であるイエス様が人間となられたのは、私たちが罪の影響から解放され、救いの恵みを経験するためです。

これに関連して、ヨハネによる福音書14節から、二つの考えを皆さんと共有したいと思います。

まず、イエス様は受肉して私たちの中に住まわれ、私たちが救いの恵みを経験できるようにした「言」です。救いの恵みを体験するには自分の罪を悔い改める必要があります。その時初めて、私たちは本当にイエス様と共にあり、私たちのクリスマスのお祝いが本当に意味のあるものになるのです。

次に、「言(イエス様)は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった」と一章の冒頭にあるように、私たちの罪深さは私たちをイエス様と救いの恵みから遠ざけました。

ですから、クリスマスを有意義に祝えるよう、悔い改めの恵みを祈りましょう。

ビジュ キシャケール 神父

皆様、主のご降誕おめでとうございませう。幼子イエス様の誕生は私たち一人一人にとっては喜びであり、救いへの招きです。全ての人が訪れ敬う形で、幼子イエス様は馬小屋でお生まれになりました。私たちの働きかけによって一人でも多くの方が幼子イエスと出会うことができると祈ります。

一年かけて準備してきた教会の地区制度は10月からの地区集会をもって始まり、多くの方々から「このような集会を待っていた」との嬉しい言葉をいただきました。

いただきました。教会共同体を作り上げるためには皆の協力が欠かせません。幼子イエス様が私たちの中に、私たちの共同体の中に宿ったことを喜び、その喜びを家庭にも広げましょう。

後藤神父様には、主任司祭はじめ司祭団が折々にお見舞いに伺っています。

記憶や意識は少しもおかわりなくお元気にお見受けしますが、「目や耳や手足の力は年齢相応に衰え、電話や手紙に依ったり、訪問を受けるのは体力が及ばないので(ご本人から、静養に専念したく、お便りや安否のお尋ねなどを控えていた。たくよう皆様に伝えてほしいと再三依頼されています)どうぞご容赦ください。皆様のお気持ちを有難く思っていますし、私も吉祥寺教会の新しい取り組みと教会共同体の発展と一致のために祈っています。」とおっしゃっています。

「よいクリスマスをお過ごしください」との伝言も承りました。

皆様、神父様のためにお祈りください。

ごどもたちのお祝い

◆七五三祝福式◆

11月6日、6名の子ども達が七五三の祝福を受けました。前に出て、森神父さまから祝福をいただきます。日本に古くから伝わる子どももの成長を祝う日に合わせて、教会でも共同体みんなで子どもたちのために祈りを捧げました。



←記念にプレゼントされたおメダイと聖母子をデザインしたステキな千歳飴♪



◆初聖体◆

11月26日「王であるキリスト」の主日に、8名の小学生と1名の中学生の初聖体式が行われました。イエス様の体を自分の手で受ける嬉しさと緊張感、いつまでも忘れないですね。

祝福された子ども達がこれから光の子として歩んで行けますように。皆で見守り、育んでいきましょう。

きょう イエスさまのからだをいただきます。いつもともにいてくださるイエスさまのもとで、みんなが一つの心になりますように。
(初聖体の共同祈願より)



日曜学校だよ



この時作った
ろうそくは、
シャローム今号
の表紙に使って
いただきました。

教会ミニバザーに日曜学校は、子どもたちの手作りろうそくで参加しました。祭壇で使用していたろうそくをかわいく復活させました。実はろうそくだけでなく、ラベルカードや袋の留め具もみんなで作ったんですよ。

日学ろうそくは、以前から夏合宿で作っていました。2019年の山の家では、夜にみんなで作ったろうそくを庭に十字架の形に並べ、祈りと歌を捧げました。とても心に残る経験でした。

その時はまだ高校生だったリーダーが、今回は大学生になって活動の中心に。また高校生になった当時の子どもも、リーダーとして活躍し始めています。

教会の仲間と一緒に日曜学校を楽しむ経験が、コロナ禍で無くなったようにも見えましたが、ちゃんとつながっていました。多様性の時代、いろいろな方法で教会と関わることができると思います。その中のひとつ『日曜学校』でみんなが大きなお恵みをいただきながら成長できますように。

1/5 待降節について

待降節=救い主イエスさまが来られるのを
待ちながら、クリスマス準備する期間。
2023年の待降節は12/（ ）～12/（ ）

12月 自分でしるし
SUN | MON

商業的なクリスマスがあふれる中、本当のクリスマスの意味を知っている子どもたちは幸せですね。待降節についてリーダーが作ってくれたプリントで学びました。

Xin chào!

よろしくお祈りしま〜す!



10月にはマリア様のためのミサ、誕生日の方のお祝いも。これまで慣れない日本語のミサに参加したり、ミサを諦めたりしてきた方々にとって、母国語で式文を唱え聖歌を歌える交わりの場が、日本での生活の助けになりますように。また、バザーやお掃除など、教会の行事にも積極的に参加し、楽しみながら心をつにして一途に神様に向かう姿に私たちも学び、ともに歩いていきましょう。(編集部)

同士の交流の場を作って、ベトナムの若者たちの信仰生活を支えています。わが吉祥寺教会にも、フォン神父の着任により、ビジュ神父のはからいで、武蔵野市周辺、中央線エリアに住むベトナムの人のために本年9月からベトナム語ミサができました。数か月の準備を経て、9月10日

ベトナム語ミサ連絡係

にフォン神父は、ビジュ神父、ボスコ神父と共同司式でベトナム語の初ミサを捧げられました。森神父も参列して祈りを捧げてくださいました。教会委員の代表、青年会の皆さんも駆けつけてくださいました。ミサは約60人が参列し、厳かに行われました。女性はベトナムの正装であるアオザイを着ました。ベトナム語ミサグループの多くは20代の若者で留学生として勉強したり、技能実習生、特定技能として働いている人たちです。日本語の難しさ、労働の厳しさの中で一生懸命日本で生活しています。いろいろ不慣れなところがありますが、吉祥寺教会の一員として、信徒の皆様は温かく迎え入れられ、信仰を深め、神の愛、福音を宣べ伝える者になりますように。吉祥寺教会の信徒の皆様、ベトナム語ミサの若い信者たちをどうか末永くよろしくお祈り申し上げます。

9月からベトナム語のミサが始まりました!
◆毎月第2日曜日 午後3時から

日本には、ベトナムからの留学生、技能実習生や就労者など約49万人が生活しています(法務省令和4年データよ

り)。国別では中国に次いで2番目に多い人数です。そうなるとカトリック信者の中で、ミサにあずかりたい、教会に行きたい、信者同士のつながりをもちたいという要望が生まれます。日本全国で約50名いるベトナム出身の司祭がこれにこたえるべく、それぞれの所属教会でベトナム語ミサや信者

ベトナム語ミサグループの多くは20

教会委員会
行事担当

「お久しぶり！お元気？」、「いやだ、お名前が思い出せなくて。歳のせいだから許して！」「うふふ」と笑顔の絶えないミニバザーでした。信徒親睦が目的の一つですから、これだけでも大成功だったと思います。

「コロナ禍もようやく一段落しましたが、もう以前と同じには戻りません。教会も新しい形を探りし、みんながやりたいと思ってるバザーを、みんなが楽しめるミニサイズで試してみましよう、というのが今回の企画でした。」

ミニバザーとはいっても、教皇様の「コロナ禍によるピンチをチャンスと捉え、教会の刷新、新たな教会への旅立ちの機会とする」というシノドスへの道の意向を思い起こし、シノドス的な教会の交わりの中で共に歩む教会の一助になり得たのではと、教会委員会一同喜んでいきます。神に感謝。

初のミニバザー開催！

10月15日&22日



ヨゼフ会お馴染みの古本市。神学生垂涎の希少本や絶版本から売られています。その価値や推して知るべし。



いつも笑顔が絶えないフィリピン・グループは鰯の缶詰、豚皮チップス、トロピカルフルーツの缶ジュース等を揃えました(食べ物は市販品限定の条件でした)。

大人気！ビジュ神父のチャイ(インド風ミルクティー)&森神父のオリジナルCD。



日曜学校、糸ぐるまの会(旧手芸部)、カリタス東京、障がい者支援団体ソレイユ(ゲスト参加)の各ブースも賑わいました♪



マリア会の行動力・段取りのよさは言わずもがな。衣類食器から鉢植え・古本にいたるまで多種多様な品揃えで大盛況。



クリスチャンポップスに合わせて嬉しそうに踊るベトナムの若者。その姿から元気をももらっただけでなく、教会ってこんなに楽しいところなんだと再認識。

地区グループ集会報告



中央にロウソクを灯し、円く座って祈りと歌で集会が始まります

地区制度がスタートしました

教会委員地区制度担当

10月28日の世田谷グループにはじまり、12月2日の西東京グループまで、土曜17時のミサ前、日曜10時半ミサ後の時間帯に第一回地区グループ集会（全10地区）を開催しました。

集会の冒頭、「吉祥寺の街は大勢の人であふれているけれど、その中と同じ信仰を持つ人がどれだけのいるだろうか。初代の教会は、衣食住すべてのものを

皆で分け合っていたけれど、現代の私たちは、こうして、モノやお金だけでなく、ともに過ごす時間を分け合うということが、私たちの信仰を育て強くするのに役に立つのではないか」というビジュ主任司

祭の言葉にうなずいたり、中にはメモを取られる方も。

初めての集会なので、お互いに知り合うことが中心でした。「これまで一度も会話したことがない方を探してお話ししよう」という形で自己紹介。思いがけず近所に住んでいる方を発見したり、同じボランティア活動をしていた

方が信者だったと知って驚いたり、長く教会に来ることができなかったが、地区集会の案内をもらったからどうしても参加したくて仕事のシフトを調整してきた方、これまでどの会にも所属できなかったから、所属するグループができて嬉しい、次の会合はいつかとおっしゃる方も。皆さんが笑顔で交流を楽しんでいる姿がとても印象に残りました。

その他、この集会のルールを確認し、来年の教会75周年に期待する行事や記念品の提案、今後のグループ集会でやっ



てみたいことなどを話しました。最後に祈りと森神父様のピアノに合わせ皆で歌を歌い、お菓子をいただき解散しました。少しの時間、部屋の電気を消し、一本のろうそくの火を皆で見つめ、教会に集うことの意味にも思いをはせました。全10地区の集会で、のべ二九二人の参加があり、各集會に司祭団、教会委員、地区割準備委員長らが参加しました。ここまでの基礎を作って下さった司祭先輩信徒の方々、日程を合わせて参加して下さいた皆様、今回は参加できずとも集会のために祈って下さった多くの方々に感謝申し上げます。

次回はさらに多くの方のご参加をお待ちしています。

「隣人を愛する、周りの人を大切にする」気持ち忘れず、この集會が皆さんの心の拠り所のひとつになればと祈ります。

久しぶりに教会にいらした方に病者の塗油。この日は文語の主の祈りを唱えました



★次回は来年復活祭以降に順次開催予定です。

教会の動き

〈9月〉

9月より平日朝ミサ6時45分からになる。

2日 教会委員会・財務委員会
聖書入門講座1始まる

3日 典礼奉仕者連絡会・日曜学校
始業式・避難訓練

主日午後外国語ミサ15時になる
英語で聖書を読み黙想する会
始まる

9日 聖書入門2始まる

10日 ベトナム語ミサ始まる
ヨゼフ会例会

16日 洗礼後のフォローアップ講座
始まる・地区割準備委員会

17日 日曜学校

23日 敬老のお祝い 病者の塗油
17時ミサにて

24日 敬老のお祝い 病者の塗油
9時、10時半ミサにて
ヨゼフ会幹事会

〈10月〉

1日 日曜学校

7日 財務委員会

8日 ヨゼフ会例会

14日 教会委員会

15日 ミニバザー・日曜学校

22日 ミニバザー

聖堂掃除・ヨゼフ会幹事会

28日 世田谷グループ集会

29日 杉並南グループ集会

〈11月〉

2日 死者のためのミサ 10時半

5日 七五三お祝い 9時ミサにて
典礼奉仕者連絡会・日曜学校

杉並北グループ集会

11日 教会委員会

練馬グループ集会

12日 武蔵野東グループ集会

18日 武蔵野西グループ集会

19日 日曜学校・三鷹東グループ集会

25日 三鷹西グループ集会

26日 初聖体式 9時ミサにて
小金井グループ集会

聖堂掃除・ヨゼフ会幹事会

〈12月〉

2日 教会委員会・財務委員会

西東京グループ集会

3日 日曜学校・待降節黙想会(指導
神言会 市瀬英昭神父)

9日 大掃除・クリスマス装飾

0422市民クリスマス

敬老のお祝い・病者の塗油

吉祥寺教会では80歳以上の方を敬老のお祝いの対象にしています。今年は約500名強の方に案内状を出し、9月23日17時ミサ、24日9時、10時半の各主日ミサの中で120名が病者の塗油を受けられました。

様々な理由で出席することができなかつた方のためにも神様のお恵みと平和がありますようにお祈りいたします。



「フードバンクむさしの」の活動に協力しています

教会委員長



「フードバンクむさしの」西口代表がコロナ禍の2021年に吉祥寺教会のビジュ主任司祭を訪ね、司祭団が地域で困っている方々への支援を大切と判断し、当教会施設を仮の活動拠点の一つとしてスタートして2年半がたちました。最初は小さな応接室2つを、食品保管用の倉庫として貸し出すことから始まり、やがて活動が軌道にのって手狭になりましたので、現在は信徒会館1階の中ホールとの奥のスペースを使っています。

「フードバンクむさしの」では、個人や企業・団体から食品や金銭の寄付を直接受けています。食品は、常温保存可能なもので、賞味期限が1か月以上ある未開封のもの、個数や分量は問いません（※詳細は後述）。寄付は毎週火・土曜日（※詳細は後述）。寄付は毎週火・土曜日に吉祥寺教会信徒会館中ホールで受け付けているほか、武蔵野市内の公園や駅

ビルでも定期的にブースを設けて受け付けています（フードドライブと呼びます）。

集まった食品は、中ホールで種類や賞味期限を確認して仕分けし、福祉団体や子ども食堂に提供するほか、月に一回個人の方20名に、お米、調味料、飲み物、お菓子、乾物などを詰め合わせてお渡ししています。また三回に一回は対象を80人に拡大し、武蔵野市内および近隣の5つの大学にも案内し各大学から10名ほどの学生・留学生も支援を受けています。「フードバンクむさしの」では、一時的な支援ではなく、自立支援を目的としているので、飛び込みで食料を求めてくる方にもまずは公的機関への相談を橋渡しし、公的福祉機関相談窓口、支援団体等と連携しながら必要とされる方に食品を提供するしくみです。

「フードバンクむさしの」の運営はすべてボランティアです。教会の信徒会館のスペースをお貸しして活動されている団体ですが、主催者ほかボランティアの方たちとの宗教思想を超えた協力は稀有

で貴重な機会だと思えます。私たちも身近な隣人に困窮されている方がいること、そのための施設が信徒会館内にありボランティアの方も出入りされていることを心にとめ、学び、祈りと奉仕で協力していければと願っています。

※寄付を受け付けているもの

・未開封で賞味期限が1か月以上ある・常温保存可能・白米は精米臼がわかるもの・玄米、パックご飯、アルファ米、缶詰（肉、魚、果物など）、インスタント食品、乾物（乾麺、海藻など）、レトルト食品、嗜好品（菓子、コーヒー、お菓子など）、調味料（食用油、醤油、みそ、塩、砂糖など）。生ものは不可。

※フードバンクむさしの連絡先

090-6509-2523（時間によって電話に出られない時もあります、時間をおいておかけ直してください。）
Email: foodbank.musasino@gmail.com ボランティア活動をご希望の方はメールでご相談ください。


※吉祥寺教会信徒会館中ホールでは毎火・土曜日10時半から15時くらいまで食品や金銭の寄付ができます。

曜日	時間	内容	担当者
第4日曜日	10:30~11:30	洗礼希望者入門講座	司祭団
毎週土曜日	15:30~16:30	主日の福音の勉強と分かち合い 主日の福音の解説	司祭団
第1土曜日	14:00~15:00	聖書入門1 共観福音書に親しむ	フォン神父
第2土曜日	14:00~15:00	聖書入門2 書簡と初代教会について学ぶ	森神父
第3土曜日	14:00~15:00	キリスト教について 洗礼後のフォローアップ勉強会	ビジュ神父
第1日曜日	14:00~14:45	英語で聖書を読み、黙想する会 Study and reflection of Sunday Readings	ボスコ神父

※今年度の洗礼希望者対象のキリスト教入門講座は申し込みを締め切りました。

<p>◆主のご降誕、おめでとございます。コロナ禍でできなかった待降節黙想会も今年はできました。この先も一歩ずつ前へ、イエス様と共に、みんなで歩めますように。</p> <p>◆年末年始のミサ 12月31日(日) 9時、10時半 1月1日(月) 10時半 1月5日(金)初金 10時半 1月1日は神の母聖マリアの祝日です。 1月1日(月)から5日(金)は午前6時45分からのミサはありません。</p> <p>◆教会事務室冬休み は12月27日(水)から29日(金)と1月1日(月)から5日(金)までです。 ◆シャローム次号は3月31日復活祭発 行予定です。 (教会委員会・広報)</p>

<p>■ 事務窓口受付時間 ■ 火・水・金曜日 午前9時30分～午後5時 土曜日 午前10時～午後5時 日曜日 午前8時30分～午後3時30分</p> <p>■ 売店開店時間 ■ 土曜日 午後1時～午後5時 日曜日 午前9時～午後3時</p> <p>※ 事務窓口、売店ともに、 月・木・祝日は定休日です。</p>	<p>■ ミサ時間 ■ 火・水・木・金曜日 午前6時45分 第3月曜日(聖霊に捧げるミサ) 午前6時45分 第1金曜日(初金ミサ、聖体賛美式) 午前10時30分 土曜日 午後5時(主日のミサ) 日曜日(主日)午前9時/午前10時30分 第1日曜日(英語)午後3時 第2日曜日(バトナム語) 午後3時 第3日曜日(タガログ語又は英語)午後3時</p> <p>■ ゆるしの秘跡 ■ 土・日曜日の主日ミサ開始20分前からミサ開始までの時間、小聖堂にて。</p>
--	---

<p>■教会報 シャローム■ NO.509 2023年12月24日発行 カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8 TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ https://svdtokyo.jp/ 教会維持献金振替口座 郵便振替:口座番号/00120-1-106084 加入者名/カトリック吉祥寺教会</p>	
---	---